



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

11月15日号

<http://shionjies.shibata.ed.jp>

じやりじやりしたよ

校長 土田 志津子

「校長先生、来てえ。このご飯、ぼくがじやりじやりして、作ったんだよ。」（1年生）

「お兄ちゃんが卵焼き作っていたので、私も自分で作ったんだよ。ほら、見て。」（2年生）

「巻くの難しかったよ。お母さんにちょっと手伝ってもらったけど、ぼくの卵焼き。」（3年生）

4年生のみなさんの卵焼きは、2年目ということもあり、「結構うまくできたよ。」と、自信のある声が聞かれました。5年生は、調理実習でご飯を炊く体験をしていたので、初めての“my弁当”も、「自分で作れたよ。けっこううまくできた。」と完食の弁当箱を見せてくれました。6年生は、昨年度も体験していますし、家庭科で栄養バランスを考えたおかず作りもしていたので、かなり腕を上げた“my弁当”でした。

それぞれの学年の子どもたちが、先日のフリー参観日に、お弁当作りに挑戦しました。当日、朝から大事そうにお弁当を持参する姿を見て、思わず「がんばったね。」と声をかけると、にっこり頷く子どもが大勢いました。昼食時に教室を回ったときも、1年生が、米をとぐしぐさを「じやりじやり」と言って教えてくれました。

朝から、あるいは前日から、保護者のみなさんが、お子さんに手取足取り関わってくださったことに、感謝申し上げます。ご多用の中、ご協力大変ありがとうございました。

新発田市で推進している「食育」の取組の一つである「弁当の日」。紫雲寺小学校では2年目になりました。子どもたちが、安心安全な「食」、自分の体をつくる「食」に、少しでも関心をもってくれたらうれしいです。

11月13日に、干拓太鼓引継式が行われました。いよいよ25代目から26代目へ受け継がれます。6年生の師匠に向かって、5、4年生の弟子が、「お願いします。」と始まります。「礼」に始まり「礼」に終わるという伝統も、引き継がれています。太鼓のリズムを、手を取り教える6年生。篠笛の音の出し方を真似る4年生。この日から4ヶ月間、弟子は師匠から学んでいきます。2月の六送会には、26代目が誕生します。6年生は最後の任務です。しっかりやってくれると思います。



音楽交歓会

心を一つにして演奏しました

11月7日に、新発田市小学校音楽交歓会が開催されました。3年生35名、4年生33名の子どもたちが、「とどけようこのゆめを」の合唱と「雨のち晴レルヤ」の合奏を発表しました。9月から、合同音楽や昼休み時間のパート練習など、みんなでがんばって練習してきました。当日は、「心を一つにして」

を合い言葉に、明るく元気のいい歌や演奏を聴かせてくれました。「緊張した。」という感想に混じって、「もう一度やりたいなあ。」という声も聞かれました。

一人一人が満足できた発表会でした。

応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



なかよし集会

いじめゼロ (しない・させない・許さない)

11月8日(土)のフリー参観日に、「お互いを思いやり、いじめをしない・させない・許さない紫雲寺小学校」をテーマに、なかよし集会を開催しました。

運営委員会の子どもたちが、紫雲寺中学校区や校内で行われている「いじめゼロ」に向けた活動のプレゼンテーションと劇をしました。相手を思いやる行動の大切さを演じていました。

この後、ファミリー每班に「タワー作り」に挑戦しました。広告紙を棒状に細く丸めたものを、協力してつなぐ活動でした。組み立てる人、支える人、セロテープを切る人、セロテープでつなぐ人など、自然に協力体制ができ、みんなで力を合わせて見事な「タワー」を作ることができました。みんなで一心に作った後の達成感が、子どもたちの笑顔に表れていました。

